

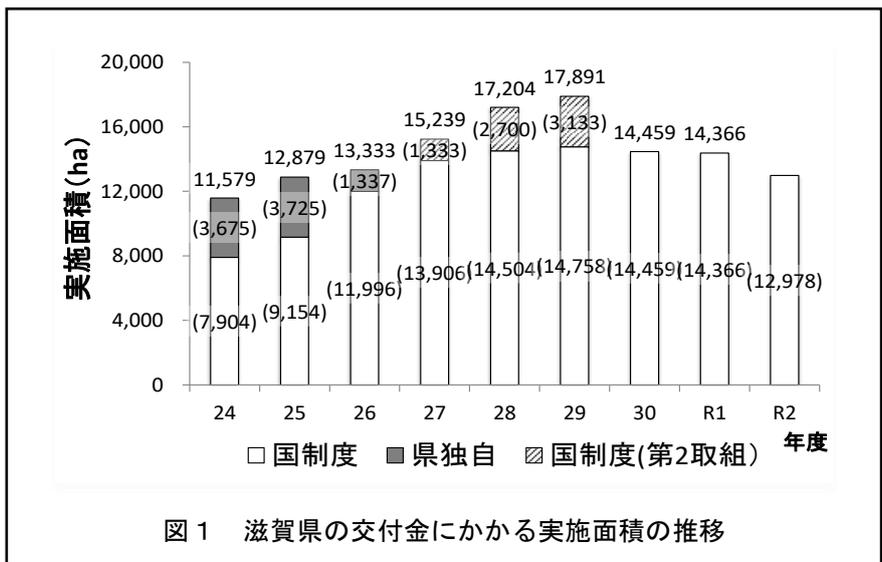
各関連事業の進捗状況について

重点施策1:環境こだわり農業の一層の拡大

1. 環境保全型農業直接支払交付金

(1) 実施面積の推移

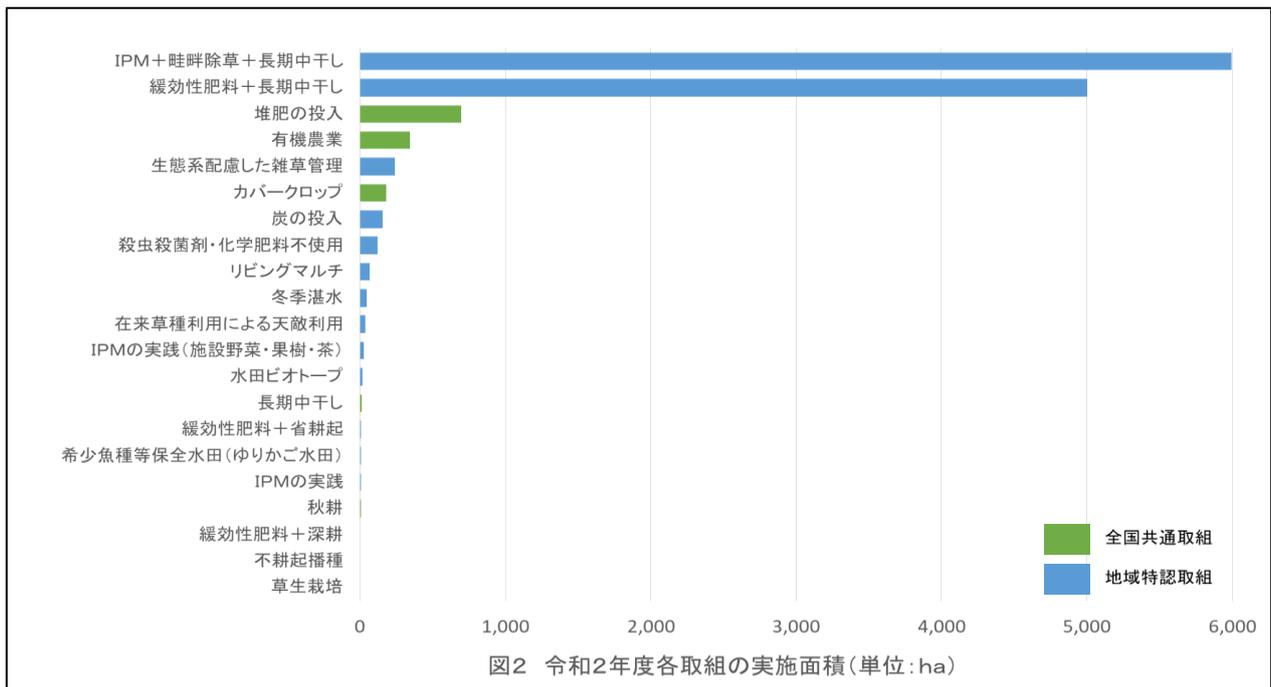
令和2年度から第2期対策が開始。環境保全型農業直接支払交付金の実施面積は12,978ha(前年差△1,388ha)。水稻の作付面積の減少等に伴って、取組面積は減少。



(2) 支援対象取組別の面積

取組面積のうち、最も多いのは、⑧IPMの実践、畦畔の手除草および長期中干し(5,996ha)。次いで、⑪緩効性肥料の利用および長期中干し(5,005ha)となっており、これらの取組で約8割を占める。

また、滋賀県は地域特認取組が全体の9割を占めており、全国と比較しても高い割合。



2. 県内外への発信

令和2年度は、新米販売と合わせて、関西キー4局でテレビCMを放映するとともに、懸賞キャンペーンを実施し、近畿圏内における販売促進の取組を実施。

また、食の情報発信サイト「滋賀の美味しいコレクション」、フェイスブックやインスタグラムにおいて、環境こだわり農産物に関する情報を発信。



○インスタグラムやフェイスブックで最新情報を発信中！

重点施策2:環境こだわり農産物の有利販売・流通拡大に向けた新たな取組

1. 環境こだわり農産物流通拡大事業(米)

(1) コシヒカリ統一デザイン米袋流通促進に対する助成

近江米生産・流通ビジョンで家庭用品種として位置付けた「みずかがみ」と「コシヒカリ」のうち、特に「コシヒカリ」について、環境こだわり米としてアピールできるよう、専用パッケージでの販売を促進(統一デザイン米袋の作成に対し助成)。



(2) 環境こだわりこしひかり販売促進等に対する助成

コシヒカリとみずかがみの新米時期に合わせ、量販店の店頭販促に対する助成を実施。(令和2年度は、デジタルサイネージの設置を助成。)



2. 環境こだわり農産物流通拡大事業(野菜)

(1)重点推進品目

令和2年度は、環境こだわり野菜のうち、取組面積の多い品目について、各関係機関の意向調査を行い、作付拡大が期待される2品目を重点推進品目として選定。

- ・ 重点推進品目： 令和元年度選定 にんじん
令和2年度選定 かぼちゃ、こまつな

(2)活動内容の検討

選定された重点推進品目の主産地や関係機関・団体とPR手法を検討し事業を実施(事業主体は園芸農産振興協議会)。

- ・ 事業内容：ポスター、POP、ミニのぼり等の販売促進・啓発活動資材作成
(デザインはこれまでに作成したもの調和)
作付情報等の情報発信による販売促進活動等



POP(こまつな)



のぼり(にんじん)



ミニのぼり(かぼちゃ)

重点施策3:環境こだわり農業の象徴的な取組としてオーガニック農業を推進

1. オーガニック米生産拡大事業

- ・ 乗用型水田除草機導入支援 : 機械導入に要する経費の 3/10 を補助。
- ・ 有機 JAS 認証取得支援 : 指導人材の育成及び認証取得に要する経費の 1/2 を補助。
- ・ 安定生産技術の普及啓発 : 栽培技術等に関する実証試験の実施や実演会・研修会を開催。

2. オーガニック米等販路開拓事業

- ・ 生産・企画会議の開催 : 関係団体・事業者と連携し産地として流通拡大を推進。
- ・ 市場調査の実施 : 大学と連携し、オーガニック近江米の消費者意識を明らかにするため、市場調査を実施。
- ・ 新規販路の開拓 : オーガニック EXPO 等への出展や各種 PR を通じた情報発信を実施。
- ・ 販路開拓マネージャの設置 : 首都圏の流通網整備を進め、試験的販売を検討。
- ・ 新商品の開発 : 贈答用「オーガニック近江米」を試作・首都圏での試験販売を検討。



導入を進めている乗用型水田除草機



商品化された「オーガニック近江米」

3. みんなで築く「おいしいオーガニック茶」産地育成事業

(1) うま味のあるオーガニック茶生産技術の開発(茶業指導所)

- ・ 土づくり、肥培管理による品質改善

(2) オーガニック茶産地体制の構築支援

- ・ 製茶体制を含めた一貫体系の構築(甲賀地域)
オーガニック茶の生産実証、品質評価
オーガニック茶の製茶体制構築のための検討
- ・ オーガニック茶の生産拡大(県内生産組織)
オーガニック茶の生産実証ほの設置
販売方法の検討

4. 魚のゆりかご水田

(1) 各地域の取組の概要



魚道設置およびPR活動(マキノ町知内 5月23日)



観察会(東近江市栗見出在家町 6月14日)

(2) 販路拡大に向けた取組

- ・ 4~6月 取組状況をメルマガで京阪神の希望する小売商等へ発信
- ・ 8月末 現地視察ツアー(湖北~高島(予定))
- ・ 小中学校、企業などへの出前授業等(随時)

(3) 琵琶湖とつながる生きもの田んぼ物語推進協議会(構成 26 団体)

- ・ 5月 総会の実施:事業計画協議、意見交換
- ・ 5月~ 新しいパッケージデザインの活用助成事業
- ・ 6~7月 生物多様性に関する調査(予定)
- ・ 9月 食味調査の実施(予定)
- ・ 11月 研究会(予定)



新しいパッケージデザイン

(4) 取組の拡大

- ・ 各地域で新規取組に向け、魚道資材提供や設置にかかる現地指導の支援。
- ・ 令和4年産に向けた取組面積拡大地域：野洲市野田、草津市志那 等